

## 南アフリカ 2024年の柑橘類輸出量は増加の見込み

[FreshPlaza](#) 2024年4月2日

南アフリカの2024年の柑橘類輸出シーズンが今月から本格的に始まる。南部アフリカ柑橘類生産者協会(CGA)の各品目別グループは、先週開催された柑橘類販売フォーラムで、これからのシーズンの予測輸出量を発表した。

CGAは、「全体として、輸出量の増加が見込まれる。南アフリカの柑橘類生産者達は、投入コストの急激な上昇、計画停電、公共インフラの老朽化などの困難な状況下で、より多くの柑橘類を生産している。この増加は、多くの地域で若い果樹が成木化している結果でもある」としている。(以下「」はCGAの見解)

現在の予測では、レモンは3,790万箱(15kg/箱(以下同じ))が主要市場に輸出され、これは昨年に比べて7%多い。

ネーブルオレンジの輸出量は4%増の2,560万箱と予測されている。

バレンシアオレンジの輸出は2年間抑制されていたが、2024年には生産量が改善し、長期的な傾向に戻ると見られ、2023年の輸出量に対し12%増の5,800万箱と予測されている。

しかし、オレンジの品目別グループは、国内の加工業者に供給する果実の収益性が大幅に向上すると見られるため、輸出量が最大5%減少する可能性があることを強調した。これは、5,800万箱の予測には織り込まれていない。

グレープフルーツの輸出も、14%増の1,670万箱と、長期的な平均まで増加すると予測されている。輸出量の増加は、昨年は輸出されなかった加工用(PPクラス)の果実が再び中国向けに輸出されることにも一部起因している。

ウンシュウミカンには約170万箱(16%増)で終了すると見られ、クレメンタインとノバはそれぞれ540万箱(8%増)及び450万箱(8%増)に達すると予想されている。晩生マンダリン全体の推計値については、今後発表される。

「2024年の果実の品質は大変良いようで、収穫の時期は典型的なものになると予想される。北部の産地で雨が少ない最近の状況は、果実のサイズが2023年よりもやや小さくなることを意味するかも知れないが、遅い時期の降雨がこれを変える可能性もある。

生産者らは2023年に、1億6,510万箱を梱包し、世界の市場に出荷した。約80万箱の増加は、長期的に予想される成長曲線を大幅に下回っている。」

「カンキツ黒星病(CBS)とフォールスコドリグモス(FCM)に関するEUの差別的で非科学的な植物検疫規制は、南アフリカが欧州市場へのアクセスを拒否されるようになるかも知れない深刻な脅威である。

CGAは、FCMの問題を裁定できる世界貿易機関(WTO)の独立パネルの設置を南アフリカ政府が早期に要求することを望んでいる。CBSに関しては、政府がWTOの協議プロセスを求めることが不可欠である。」